

# R1 中国高校駅伝競争大会の結果

11月17日(日)広島県三次市みよし運動公園陸上競技場で男子第61回、女子33回中国高校駅伝競走大会が行われ、2年ぶり参加の男子は21位、女子は6位入賞に終わった。

## 【男子の結果】

2時間19分59秒 第21位 (34チーム参加)

区間順位 ( )は学年

第1区10km	27位 青木陽生(3)
第2区3km	29位 三上純平(1)
第3区8.1075km	20位 福島康太(1)
第4区8.0875km	17位 尾林恒星(1)
第5区3km	26位 村上大登(2)
第6区5km	7位 志食隆希(1)
第7区5km	21位 布野雅也(1)

記録は10月に開催された日本海駅伝に及ばず。故障者なしで来年こそは県駅伝初優勝を目指します。



区間3位の今岡宥莉香(スタート直後)

## 【女子の結果】

1時間14分19秒 第6位 (33チーム参加)

区間順位 ( )は学年

第1区6km	3位 今岡宥莉香(2)
第2区4.0975km	14位 来間 美月(1)
第3区3km	5位 松原のどか(1)
第4区3km	7位 福間 涼子(2)
第5区5km	8位 野津きなり(3)

女子は選手が6人しかいないので、県大会と全く同じオーダーで大会にのぞんだ。他県の全国を決めた学校はエース級の選手を一部使ってこなかった。大会前日のオーダーを見ると興譲館高校(岡山)をのぞけば3000mの平均タイムも大きくは変わらなく、本人たちが思っているよりも実際は力がある。目標は1区、3区が区間賞で、総合2位に設定した。しかし全員が力通りの走りをすれば目標に届いたかもしれないが、「駅伝有名校のユニフォームに名前負けし、力を発揮することができず」残念ながら2位倉敷高校からわずか43秒差の6位入賞に終わった。県駅伝とは違ったアップダウンの多いコースを強豪校と争うことができたので、この経験を生かし全国では平田高校の過去最高順位(26位)を上回ることができるよう練習に励みたいと選手たちは語った。

# R1 島根県高校駅伝結果

11月1日（金）「日ごろの練習の成果を十分に発揮し、仲間と共にタスキをつなぐことを誓います。」今年の県駅伝は開会式で本校の中・長距離主将青木陽生の選手宣誓で始まった。

11月2日（土）快晴で気温はやや高め、若干風のあるコンディションの中、浜山陸上競技場発着で神戸川の土手を周回するコースで男子第70回、女子第34回島根県高等学校駅伝競争大会が行われた。

女子はライバル校に先頭を許すことなく9年連続11回目の優勝を果たした。昨年は部員不足のため合同チームでの参加となった本校男子は単独チームで参加し、第3位だった。いずれも11月17日広島県三次市で行われる中国高校駅伝競走大会に出場する。女子は12月22日京都市西京極陸上競技場で行われる女子第31回全国高校駅伝に出場する。（敬称略）

## 平高女子見事逃げ切り9連覇

### ○女子（今岡宥莉香、来間、松原、福間、野津）のレースの様子と結果

昨年は3本柱の1人が故障で大会直前まで走れず、ぎりぎり間に合った状態だったため、オーダーを大きく変更して後半勝負のレースで逆転勝利だった。今年は4区福間が倉吉女子駅伝前に故障（棄権）したもののどうにか間に合い予定通りのオーダーで大会にのぞむことができた。ライバル校はアンカーに外国人留学生を使ってくると予想していた。その選手たちは国体で入賞するレベルに力をつけているが、かなり早いペースで追いかけても逃げ切る形にするため目標タイムは4区終了時点で2分離し、先頭が見えない位置でアンカーに繋ぐというものだった。



後続を離して1区今岡から2区来間へ

1区は倉吉女子駅伝で全国の強豪約90チームの中で区間22位、秋から調子を上げてきた2年生エースの今岡宥莉香で、想定通りライバルの益田東、出雲商業の選手と先行する形になった。前半速く入りすぎず浜山公園の坂を下ったところまで相手を引きつけて消耗させ、ラスト3キロくらいでスパートして差を広げるという作戦が見事にはまり、以前とコースは異なるものの県駅伝初の1区20分切りの区間新記録をマークし、第1中継所では出雲商業に62秒、益田東に69秒差で襷を2区の来間美月に繋いだ。2区来間美月、3区松原のどかも実力を発揮し着実に差を広げ、故障明けの4区福間涼子も妙見橋方面の向かい風の中、僅かに詰められたものの2位の益田東とはトータル2分10秒と目標としていた以上のタイム差でアンカーの3年生エースの野津きなりに繋いだ。「安心して走ることができました。」毎晩のように留学生に追いかける夢にうなされていた野津だが、4人の頑張りで後続のチームに背中が見えないリードだった。「最後の坂は本当に苦しかった」野津だが、相手チームが競技場に入ってきたときはすでにゴールテープ手前、差は詰められたものの58秒差でフィニッシュし9連覇を決めた。



指を9本立て9連覇のゴールを切る野津

### 総合ベスト3

- 優勝 平田 1:14.25
- 2位 益田東 1:15:23
- 3位 出雲商業 1:18.14

### 区間優勝者（ ）は学年

第1区6km	今岡宥莉香(2)	19:58	(区間新)	第4区3km	(益田東)	11:05
第2区4.0975km	来間美月(1)	14:36		2位	福間涼子(2)	11:12
第3区3km	松原のどか(1)	10:22		第5区5km	(益田東)	17:05
				2位	野津きなり(3)	18:17

## 平高男子2年ぶりの参加で第3位

○男子（志食、布野、青木、尾林、村上、福島、三上）のレースの様子と結果



1区志食

昨年男子は部員不足のため、三刀屋高校、大田高校から合同チームでの参加だったが、今年は1年生が5人入部し、全部員8名の若いチームながら単独チームで参加することができた。10月に倉吉市で行われた日本海駅伝で初めて1区を任された1年生志食隆希を1区に起用し、きたろうカップで1区を走った青木陽生を3区に、春の故障から復帰した布野雅也を2区で起用する新しいオーダーであった。1区志食は「最後までついて行って最後に抜け出したかった。」が6キロ付近で徐々に離され、先頭を走る出雲工業からは1分33秒差の3位で2区布野へ。4位に後退したものの3区青木陽生が追いついて3位に浮上するも「思った以上にタイムが伸びなかった。」4区尾林恒星、5区村上大登、6区福島康太、アンカー三上純平が順位をキープし、出雲工業、明誠に次いで2時間23分19秒でゴールした。

### 総合ベスト3

優勝	出雲工業	2:14.01
2位	明誠	2:17.21
3位	平田	2:23.19



2区布野



3区青木から4区尾林へ



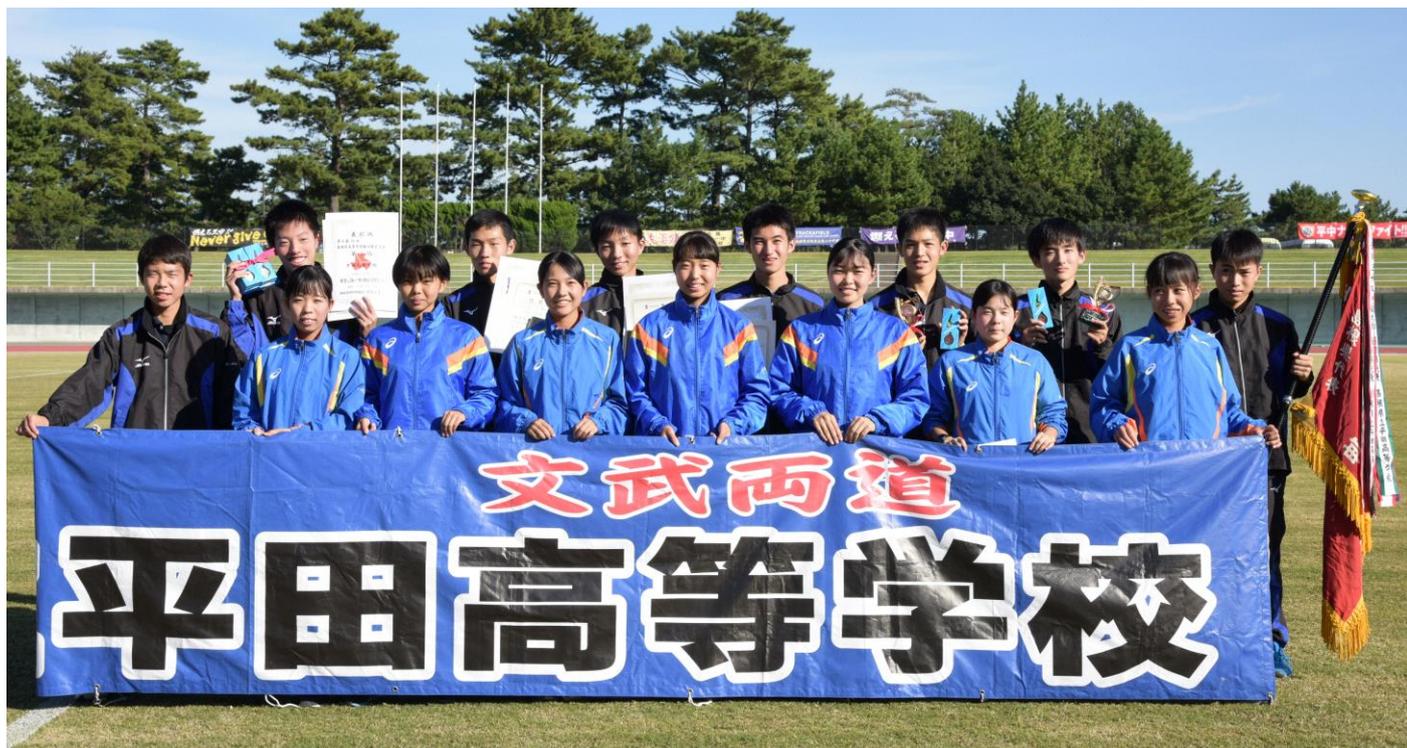
区間2位でゴールする三上

### 区間優勝者

第1区10km	(出雲工)	31:55	3位	志食隆希(1)	33:28
第2区3km	(出雲工)	09:07	5位	布野雅也(1)	10:08
第3区8.1075km	(明誠)	25:54	4位	青木陽生(3)	27:54
第4区8.0875km	(出雲工)	25:41	3位	尾林恒星(1)	27:38
第5区3km	(出雲工)	09:16	7位	村上大登(2)	10:45
第6区5km	(出雲工)	15:51	3位	福島康太(1)	16:10
第7区5km	(出雲工)	15:50	2位	三上純平(1)	17:27

## 保護者、地域、卒業生、沿道で応援いただいた皆様へ

たくさんの皆様に応援いただきありがとうございました。男子選手1名故障ながらぎりぎりの人数で3位入賞し、今月17日の中国大会に出場することになりました。若いチームですのでどんどん伸びています。来年以降にご期待下さい。女子は12月22日に京都の西京極陸上競技場で行われます全国高校女子駅伝に出場いたします。昨年は貧血や故障で十分な練習ができないままの参加となり、不本意な成績に終わりました。今年もエントリー枠に足りない部員数ではありますが、秋以降力をつけてきていますのでゼッケン番号32を上回る順位を目指してしっかり調整して参ります。皆様には今までと変わらぬご声援、ご助力をお願いいたします。本当にありがとうございました。



# 明日も笑顔で頑張ろう！！